

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

| | | | | |
|-------|--|------|--------|-----------|
| 計画の名称 | 地震に強い都市づくり推進（防災） | | | 重点配分対象の該当 |
| 計画の期間 | 平成27年度 ～ 平成31年度（5年間） | 交付対象 | 千葉県船橋市 | |
| 計画の目標 | <p>船橋市では現在、災害時における市民への情報伝達手段として、同報系防災行政無線を整備している。この防災行政無線は昭和56年度から整備を開始したものであり、老朽化が見られる。さらに、現在設置している防災行政無線の親局及び屋外子局の172基のうち71基は旧スプリアス規格の無線機であり、平成34年11月30日までの使用期限があるため、市民や市内各機関への情報伝達が十分になされなくなることが懸念されている。</p> <p>また、近い将来本市に発生することが予測されている東京湾北部地震では、多数の死傷者や液状化被害、帰宅困難者の発生が見込まれており、情報伝達手段の向上は急務である。</p> <p>このような現状を踏まえ、災害時に確実な情報伝達を行えるよう防災行政無線をデジタル化し、防災情報システムの再整備を行うことで、住民、市内各機関への災害情報の伝達、避難所への避難誘導を迅速かつ的確に行う体制を構築し、確実な情報伝達手段の確立と住民の安全確保を図る。</p> <p>そして、防災行政無線のデジタル化に付随し、より広範囲に情報を伝達するため、市内防災拠点や避難所等に設置している戸別受信機も同様にデジタル化を行い、暴風雨等の天候に左右されずに情報を伝達することを図る他、高性能スピーカーを導入することで難聴地域への対策を行う。また、文字表示板を設置することで、情報を可視化し、リアルタイムでの情報提供を行うなど、市民及び市内各機関への情報伝達手段の多様化を促進する。</p> | | | |

交付金の執行状況

(単位：百万円)

| | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 |
|--------------------------------|---------|--------|--------|------------------------------|---------|
| 配分額 (a) | 7.500 | 70.700 | 73.400 | 72.200 | 88.800 |
| 計画別流用 増△減額 (b) | △ 0.048 | | | 31.002 | |
| 交付額 (c=a+b) | 7.452 | 70.700 | 73.400 | 103.202 | 88.800 |
| 前年度からの繰越額 (d) | | | 70.700 | 73.400 | 31.002 |
| 支払済額 (e) | 7.452 | | 70.700 | 145.600 | 119.802 |
| 翌年度繰越額 (f) | | 70.700 | 73.400 | 31.002 | 0 |
| うち未契約繰越額 (g) | | 0 | 0 | 31.002 | 0 |
| 不用額 (h = c+d-e-f) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d)) | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 17.6% | 0.0% |
| 未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由 | | | | 計画別流用の手続きに時間がかかり、契約が間に合わなかった | |